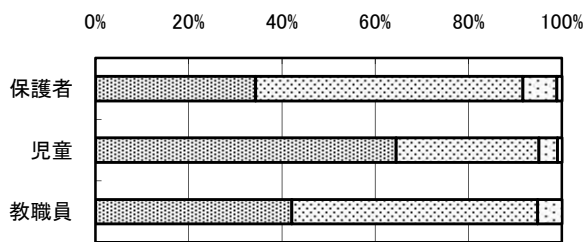


■4-そう思う ■3-どちらかといえば、そう思う ■2-どちらかといえば、そう思わない □1-そう思わない

学校教育目標

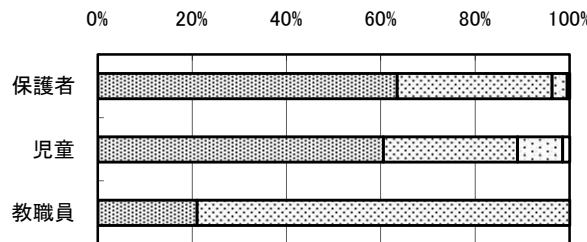
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



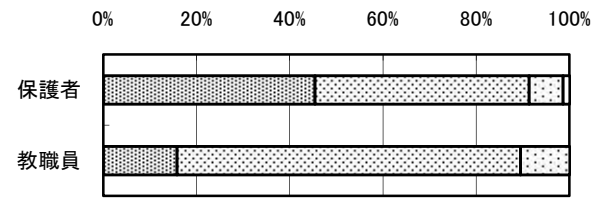
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

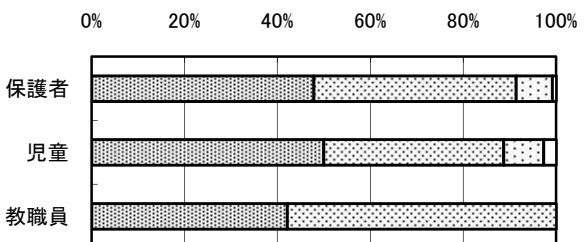


【学校から】本校の教育方針・目標に関しては「運動が大好きで、思いやりのあるかしこい子」をキャッチフレーズに、児童集会やPTA総会、各行事等あらゆる機会を捉えて校長より説明をしてきた。そのため、9割以上の保護者・児童が本校の教育方針・目標について理解している。昨年度と比較しても、児童・教職員の評価が高くなっている。楽しい学校生活に関しては、123運動の徹底のおかげで不登校の児童はおらず、保護者・児童・教職員ともほとんどが楽しい学校生活を送れていると答えているが、楽しいと思っていない児童が1割程度おり、個に応じた対応が必要である。教師の連携協力に関しては、保護者・教師とも9割がおおむね連携できていると答えているが、保護者より教職員の評価が低くなっている。これまで以上に組織として対応できるように校務分掌の見直しや定期的な部会・推進委員会の充実に努めていく必要がある。

教科指導

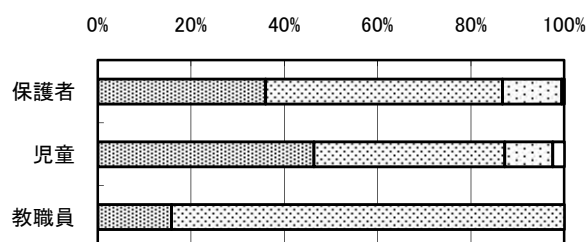
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

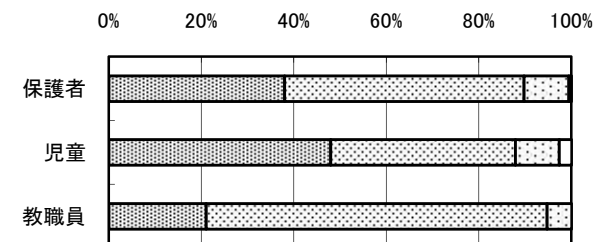
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



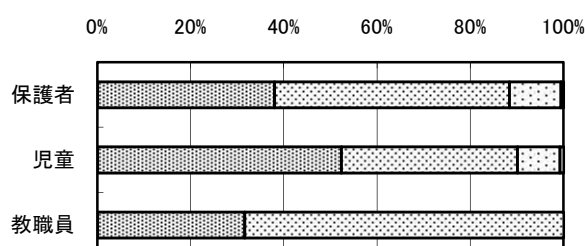
【学校から】本年度は市教育委員会の研究委嘱校として、『PISA型「読解力」を培う授業の創造～なぜ？を追究する国語科学習を通して～』を研究主題に全職員による小研、学年部による大研を行い、授業改善に取り組んできた。そのため、教師の評価は昨年度と比較し評価4の割合が高くなっている。しかし、児童の中には1割程度否定的な評価をしている子どもがおり割合的にも昨年度と比べ高くなっている。今後、現在取り組んでいる研究の更なる充実とともに、特別支援教育体制の充実等により一人一人を大切に授業づくりを工夫することが大切である。

【学校から】どの学年も環境教育や体験活動に重点をおき年間計画に沿った学習を行っている。今後は内容の系統性を考えるようにするとともに、子どもにつけたい力を意識した指導の充実が必要である。外部講師の活用も進めていきたい。

道徳教育 心の教育

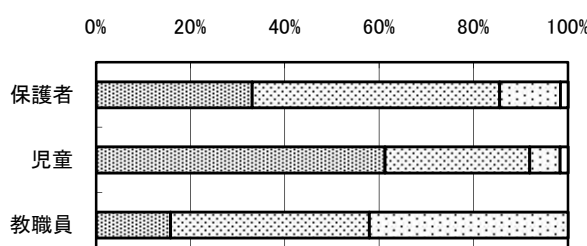
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にする心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

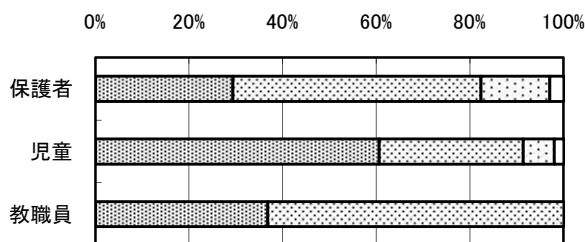


【学校から】道徳、心の教育の充実に関しては、本年度教育目標のキャッチフレーズに位置づけられたことで、昨年度に比べ教職員の意識が高まった。あいさつ、礼儀の励行に関しても3者ともわずかだが昨年度より評価が高くなっている。あいさつに関しては地域の方からお褒めの電話を何回かいただいたが、立ち止まってのあいさつが全体に定着したとはまだ言えない。無言掃除への取り組みは少しずつ定着してきている。今後も継続的な指導が必要である。また、日常的に道徳教育の充実を図り、道徳的実践力を培うため、特別活動やボランティア活動等において豊かな体験活動の場を設定したりすることに努めたい。

人権教育

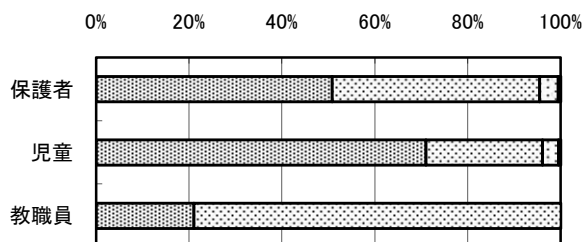
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

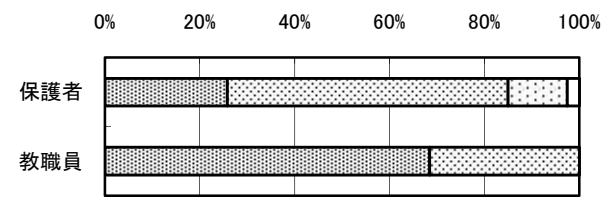
子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



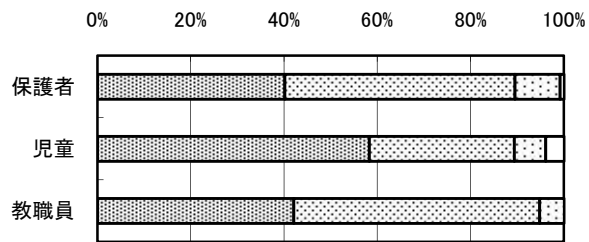
【学校から】一人一人を大切にされた指導に関して3者とも8割以上が「できている」と評価しているが、児童、保護者の順で評価が厳しくなっており、教師の意識とのずれも見られる。ちょっとした教師の対応が教師不信、学校不信になっていることも考えられる。どのようなことに対しても常に危機意識を持って丁寧に対応していく必要がある。友だちへの思いやりに関しては、おおむね良好であるが、今後も「なかよしアンケート」を毎学期実施し指導に生かしていきたい。

【学校から】年度当初の会議や毎月の職員朝会で児童理解の時間をもち、課題のある児童や支援を必要とする児童に関して共通理解を図るとともに特別支援教育コーディネーターを中心に支援時間割を毎週作成し、支援にあたっている。今後も継続して取り組んでいく。

生徒指導 教育相談

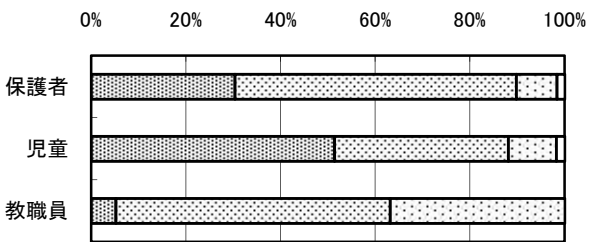
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



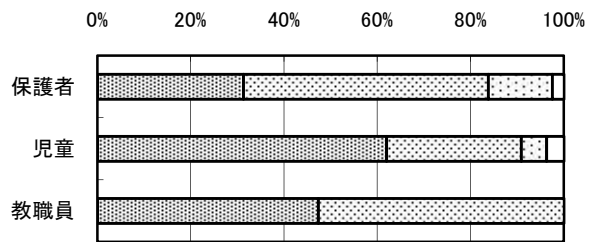
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

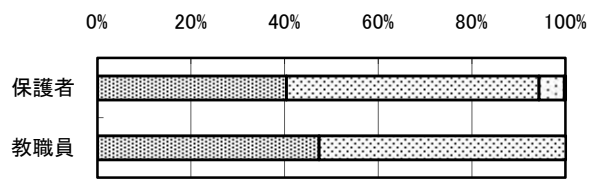


【学校から】児童理解に関しては、朝からそのための朝会を設け、全職員で共通理解に努めている。特に支援を要する児童に関しては特別支援教育コーディネーターを中心に組織的に対応するようにしており、児童の不登校や深刻ないじめは見られない。しかし、保護者や児童のいじめ問題への対応に関する評価には2や1が見られる。これは問題があったときの具体的な対応に関して教職員と保護者で認識にずれがあることが考えられる。家庭としっかりとコミュニケーションをとって対応や支援を進めていくようにしなければならない。規範意識に関しては、保護者・児童・教職員の間で大きな違いが見られる。子どもたちができているところはしっかり認めほめ励ますとともに、交通ルールや後片付けなどもっと頑張るべきことに関しては目標をもたせて指導を継続していきたい。

健康教育 安全

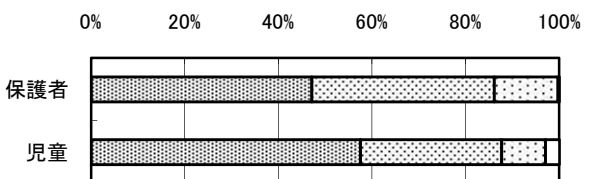
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

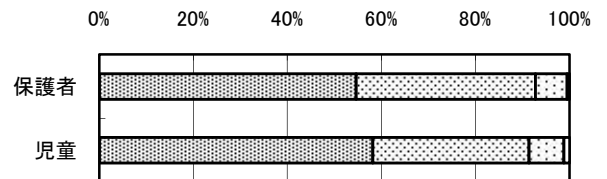


【学校から】安全な登下校指導については、交通安全リーダー証の交付等を通して意識が高まったが、教員の目の届かないところで一部危険な行為やけが等も見られたので、地域の方の力もお借りしながら継続して指導していく必要がある。体力向上に関しては、3分間走や授業初めの縄跳びに取り組んでおり少しずつその成果が現れている。今後、さらに体育の指導法の研修の機会を持ったり、体力向上プログラムの工夫とそのための環境整備を行ったりしたい。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

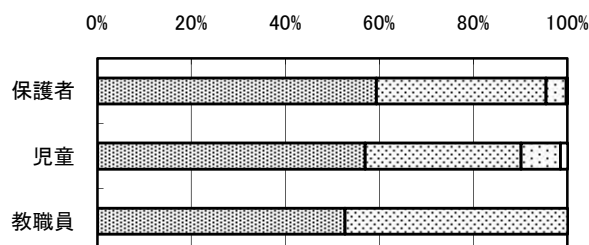


【学校から】今回も教職員以上に保護者・児童の評価がよかった。どの行事も限られた時間の中で学年ごとに工夫がみられ充実しており、児童の生き生きとした姿が見られた。これからも一人一人がやり遂げた喜びを味わわせるように取り組んでいきたい。

学校環境

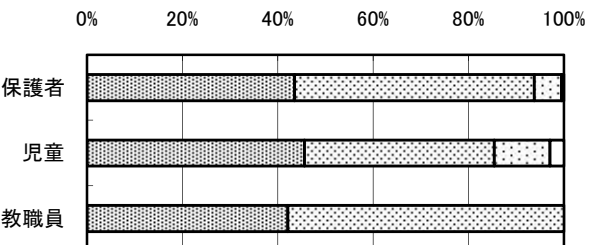
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

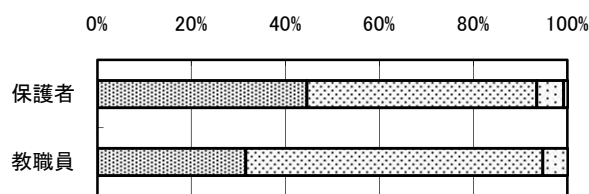


【学校から】環境の整理・美化については、今年度職員作業等によって各教室の廊下に掲示板を設置し、子どもたちの作品を掲示できるようにしたり、フラワーロードの花壇を整備したりした。そのおかげで、掲示物や花壇の整理が進み保護者・教職員の評価が昨年より高くなった。施設・設備の安全管理に関しては、毎月の安全点検によるチェックと問題があった箇所の迅速かつ確実な補修をすることでけがや事故の防止に努めている。今年度一年間に行った修理修繕箇所が多岐にわたっており、今後も安全確保に努めていきたい。

情報の公開・発信

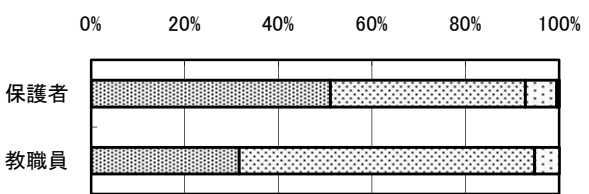
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

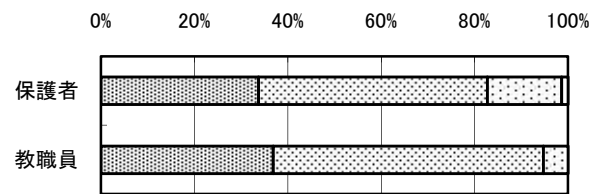


【学校から】学年・学級からの情報発信としては「学年だより」「学級だより」、学校からの情報発信としては学校だより「くらさん」「ほけんだより」「しらかわ食育だより」「サンさん算数通信」などのお便りのほかに、白川小ホームページや携帯電話によるメール配信「KIDSねっと」がある。今年度は特に学校だよりを通して随時学校の様子を伝えたり、行事があるごとにホームページの画像を更新してきた。また、緊急な連絡については「KIDSねっと」を活用し迅速に対応している。様々なメディアを使い分けることで保護者や地域に対しての情報発信はおおむねできていると考えられる。また、教育活動への参加については、参加しやすいように教育活動の年間計画を配布するとともに1ヶ月前には具体的日程や内容を文書でお知らせすることで、おおむね高い評価となっていると考える。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

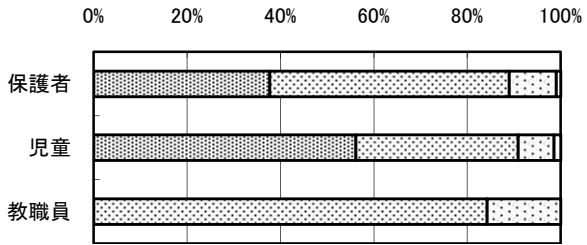


【学校から】保護者の8割、教職員の9割程度が4と3の評価をしておりおおむね連携協力はできていると思われる。地域の方にもいろいろな行事を通して児童がお世話になっており、学校・家庭・地域の三者が連携して子育てに当たっているのが本校の大きな特徴である。みんなで子どもの見守りができるように連携協力体制をさらに進めていきたい。

(学校独自)

23 運動が大好きで、思いやりのあるかしこい子

子どもは、「運動が大好きで、思いやりのあるかしこい子」をめざしてがんばっていますか。

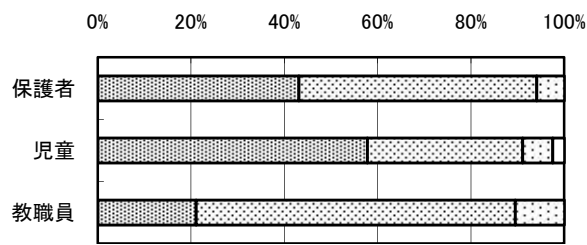


【学校から】児童は「運動が大好きで、思いやりのあるかしこい子」を意識して頑張ることができている。しかし、体力運動能力面の向上は本校の課題であり、体育の授業の充実を図る必要がある。学力は熊本市の平均を大きく上回ることができている。今後は児童一人一人にそれぞれのめあてを持たせて努力させたい。

(学校独自)

24 体験学習の重視

学校は、体験学習を重視した教育活動に努めていると思いますか。

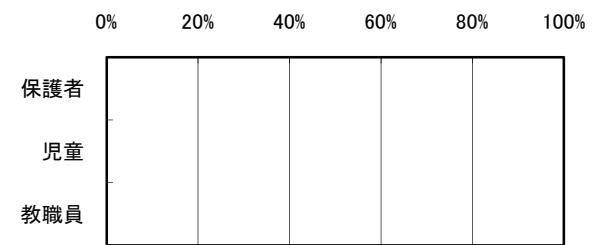


【学校から】今年度もベジタブルロードの花壇でのトウモロコシ、オクラ、サトイモ等の栽培に取り組み収穫することができた。今後はさらに食育との関連付けを進めていきたい。4年生は飼育活動や盲導犬とのふれあい、5年生は外部講師を招聘しての森林についての学習とベンチ作り等積極的に体験学習を取り入れることができた。今後も総合的な学習の時間等を活用して体験学習を充実させたい。

(学校独自)

25 0

0



【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

- 教育方針・目標の理解に関しては、来年度も「運動が大好きで、思いやりのあるかしこい子」をキャッチフレーズに、年度初め並びに各学期の始めと終わりにPTA総会や学級懇談会、各種行事、各種広報紙で知らせていく。
- 児童の意欲的な学校生活に関しては、児童がどの子も意欲的に楽しい学校生活を送れるよう、なかよしアンケートや日頃の児童観察、できるだけ教職員が児童と会話を交わす時間の確保等を通して児童一人一人の理解に努める。また、特別支援教育は、一人一人を大切にできるように、教職員間での児童理解のための情報の共有、特別支援教育体制の更なる充実を努めていく。
- 教職員の連携を深めることに関しては、生徒指導面では学校でおきる様々な事象に対して、常に危機感を持って対処すると共に、いつでもきちんと説明できるよう確実で適切な対応を心がける。そのために、報告・連絡・相談を徹底し担任だけの対応にならないように学年や生徒指導主任を中心として組織で対処する。その他、研究等においても部会や推進委員会を定期的に行うことで、職員みんなで取り組んでいく意識を高めるようにする。
- 児童が楽しく意欲的に取り組む授業に関しては、研究発表会に向けて日頃から「なぜ？」を問う授業を通して、楽しく主体的に児童が学ぶことのできる授業のあり方を研究し実践していけるようにしたい。その際、ICTなどの情報機器も積極的に活用したい。
- 道徳的心情の育成に関しては、来年度も道徳の授業の研究授業や研修を通して教師の道徳の授業力を高めると共に保護者や地域の方々への公開授業を行い、理解と協力を求めていく。
- 規範意識の育成やいじめ問題に関しては、まず問題を起こさせない環境づくりと、もし起きた場合には早期発見早期対応を心がける。そのためには、立ち止まっの挨拶と無言掃除、ボランティア活動ができるように重点的に指導をするとともに、担任と児童との会話を重視し、児童の目線に立った児童理解に努め、児童一人一人が安心して生活できる学級づくりに取り組む。また、問題が発生した場合は、まず家庭への電話連絡、次に家庭訪問、そして学校全体での対応を徹底していく。
- 健康・安全教育に関しては、学校保健委員会を年間3回実施し、児童が自分たちのための学校保健委員会であり自分たちで取り組むという意識を持たせるとともに、全家庭にも健康・安全に関して啓発に努める。また、「運動が大好きで、思いやりのあるかしこい子」を目標に、休み時間のクラスマッチの実施など外遊びを奨励していくとともに、食育や保健指導の充実を図る。
- 学校環境の整備に関しては、月1度の安全点検を徹底した上で、迅速かつ適切な修繕修理を行い安全確保に努める。
- 情報の公開・発信についてはこれまで同様いろいろなメディアを活用して発信に努めていく。
- 学校・家庭・地域の連携に関しては、学校行事、地域行事に参加しやすいように早めにお知らせを行い積極的に参加を促す。

学校関係者評価

- 校長を中心とした学校の取り組みがよく見えた1年だった。いろいろな場面で子どもたちの頑張る姿が見え、これも先生方の指導のよさだと思う。
- 学校内の環境整備がよくできている。玄関から入ったところの季節の飾りや職員室前の花壇等これからは益々楽しみである。
- 学校評価については、どの立場からも100%満足ということはないと思うが、先生方の熱心な様子が伺える。一方、先生方が自ら1、2の評価をつけているところが見られる。保護者や子どもとずれがあることは仕方ないが、教師の評価に1、2の評価がないようにしてほしい。
- 123運動の成果が現れている。不登校0は立派である。今後も続けてほしい。一方、学校が楽しいと思っていない児童が1割程度いる。是非組織として対応する等努力をしてほしい。
- 立ち止まっの挨拶、雑巾の正しい拭き方は小学校の指導の成果が中学校に行っても生きている。小学校からきちんと育てていくことが大切である。
- 体力向上を第一に強い子を育ててほしい。
- 授業づくりの工夫に関して、PISA型「読解力」の研究の成果が現れている。一方、1割程度否定的に答えている児童がいる。答えを求めるばかりでなく、子どもたち自身に疑問を持たせるような工夫をしてほしい。
- 親に先生方の気持ちが伝わっていないところがある。学校に来ない親をどう引きつけるかで学校への不満は解消する。学校と保護者の相互理解や協力が進むような方法を考えてほしい。